

INTERVIEW
半田 陸

絶
対
に
ア
ジ
ア
タ
ス
ト
ル
を

チケット
好評発売中

チケット情報はこちら



ガンバ大阪



CHAMPIONS LEAGUE TWO™

GROUP STAGE STAGE MATCH DAY 6

2025.12.11 (Thu)

19:00 KICK OFF

市立吹田サッカースタジアム



RATCHABURI
FOOTBALL CLUB

ラーチャブリーFC
(タイ)

リーグとはまったく別の大会。楽しいし、やりがいがある



ガンバ大阪

半田 陸 DF 3

AFCチャンピオンズリーグ2 (以下ACL2) に初参戦しているG大阪。
12月11日には今季の公式戦最終戦でもある、
第6節・ラーチャブリーFC (タイ) 戦がホームで行われる。
今回、話を聞いたのはチームの柱の一人となった半田陸。
ACL2に感じる面白さややりがい、
G大阪のファン・サポーターへの思いなどを語ってもらった。

取材日:11月13日(木) 聞き手:下窗 昌記



半田 陸(はんだ・りく)
2002年1月1日生まれ、23歳。
山形県出身。176cm/70kg。
山形JY村山→山形Y→山
形を経て、2023年にG大阪
に完全移籍で加入。シーズ
ンをおして高いパフォーマンス
を発揮しており、攻守両
面でチームを支えている。

学びになった東方戦の失点

——半田選手は今季、ほとんどの公式戦でピッチに立ってきました。ここまでの自己評価を聞かせてください。
「ケガなくここまで試合をやることはガンバに移籍してきてからなかったので、すごく幸せでうれしいです。でも、今年は攻撃の部分でもっと数字(得点・アシスト)を残したいと思いながらやってきたので、いまの数字に関してはちょっと残念だなと思うところはあります」

——アウェイで行われた第4節・ナムディンFC戦(ベトナム)は発熱により遠征に帯同しませんでした。それまでの3試合を戦った感想はいかがですか。
「一番感じるのは、ホームとアウェイで相手の戦い方がまったく違うということです。(11月13日の取材時点で)まだ僕はタイのアウェイしか行っていませんが、すごく難しかったですし、DAZNで観たナムディンFC戦もホームでやったときとは迫力が全然違うと感じました」

——ホームで行われた第1節・東方(ホンコン・チャイナ)戦では、半田選手がマッチアップしていたブラジル人のジル・マルティンス選手にカーブのかかったミドルシュートを決められました。AFCチャンピオンズリーグ2(以下ACL2)のアタッカーと対峙することで、刺激や学びも多いのではないですか。

「東方の外国籍選手でも、『Jリーグだったら大丈夫かな』と思うところからああいうゴールを決める力を持っています。この先のノックアウトステージでは個々のレベルがより高くなると思うので、あの1失点は学びになりました。でも、試合中は楽しいですし、学びも多いですよ。やっぱり、外国籍アタッカーはより仕掛けてきますし、単純に1対1の局面が多くなるので自分は好きですね」

西地区クラブとの対戦が楽しみ

——半田選手はこれまで年代別代表の一員としてアジアの舞台を数多く経験してきましたが、クラブの一員としてアジアの大会に参加するのは今回が初めてです。あらためてACL2にはどのような思いがありますか。
「Jリーグとは本当に別の大会で、すごくやりがいを感じますし、楽しいです。勝ち進んでいけば、中東のクラブのビッグプレーヤーとも対戦できるかもしれないので、それもすごく楽しみにしています」

——今大会で優勝すれば、来季のAFCチャンピオンズリーグエリート(以下ACLE)のプレリミナリーステージ(予選)に出場できます。そのこともチームとして意識していますか。
「ACLEに出るためにも絶対に優勝したいですし、ACL2も重要なタイトルです。僕はタイトルを獲ったことがなく、今季もリーグ戦、国内のカップ戦ともに難しい結果に終わりました。チームとしても個人

としても、ACL2は欲しいタイトルの一つですね」

——決勝までいけば、西地区からはクリスティアーノ・ロナウド選手らを擁するアル・ナスル(サウジアラビア)と対戦する可能性もありますね。
「ほかのアジアのチームとはまったく別物のレベルだと思うので、対戦を楽しみにしながら勝ち上がっていきたいですね。ノックアウトステージも海外クラブとのホーム&アウェイも僕にとっては初めての経験ですし、大会の雰囲気も味わいながら自分のやることをやって、チームを勝利に導いていきたいです」

——G大阪はかつてアジアの頂点に立った経験もあるだけに、ACL2に対するサポーターの熱量が高く、アウェイの地にも大勢のサポーターが足を運んで熱い声援を送っています。あらためて、半田選手にとってG大阪サポーターとはどのような存在ですか。
「アップでピッチに入るときの声援もすごいですし、ACL2は平日夜に試合をしますけど、それでもたくさんのサポーターの皆さんにきていただいています。僕らのために時間を割いてきてくださるので、その人たちのためにもACL2で勝ち続けたいと思っています。アウェイでもホームのチームより大きな声援で後押ししてくれまし、スタジアムに着いた瞬間のガンバサポーターの多さにはいつも驚かされます。『自分たちもやらないといけない』と、すごく思わせてくれる存在です」

REGULATIONS ~大会概要~

グループステージ

日程 2025年9月17日(水)~12月11日(木)

32クラブが出場。4クラブずつ8グループに分かれ、各グループ、ホーム&アウェイ2回戦総当たりのリーグ戦を行う。各グループ1位および2位のクラブがノックアウトステージに進出する。

グループF 順位表

順位	チーム(国名)	勝点	勝	分	負	得	失	得失
1	ガンバ大阪(日本)	15	5	0	0	14	2	12
2	ラーチャブリーFC(タイ)	9	3	0	2	15	6	9
3	ナムディンFC(ベトナム)	6	2	0	3	5	7	-2
4	東方(ホンコン・チャイナ)	0	0	0	5	2	21	-19

ノックアウトステージ

ラウンド16 第1戦 2026年2月11日(水)・12日(木)
第2戦 2026年2月18日(水)・19日(木)

準々決勝 第1戦 2026年3月4日(水)・5日(木)
第2戦 2026年3月11日(水)・12日(木)

準決勝 第1戦 2026年4月8日(水)
第2戦 2026年4月15日(水)

決勝 2026年5月16日(土)

準決勝まではホーム&アウェイのノックアウト方式。決勝に関しては1試合を行う(決勝を除いて同一地区内のクラブと対戦する)。



決勝に進めば、C.ロナウドを擁するアル・ナスルと対戦する可能性も

RESULTS & SCHEDULE ~今大会の歩み~

VS 2025年9月17日(水) 第1節 HOME
東方(ホンコン・チャイナ) 3-1
[G大阪得点者] ウェルトン、宇佐美、ヒュメット

VS 2025年10月2日(木) 第2節 AWAY
ラーチャブリーFC(タイ) 2-0
[G大阪得点者] 安部、食野

VS 2025年10月22日(水) 第3節 HOME
ナムディンFC(ベトナム) 3-1
[G大阪得点者] 美藤、ジェバリ、オウゴンゴール

VS 2025年11月5日(水) 第4節 AWAY
ナムディンFC(ベトナム) 1-0
[G大阪得点者] 美藤

VS 2025年11月27日(木) 第5節 AWAY
東方(ホンコン・チャイナ) 5-0
[G大阪得点者] 山下、福岡、安部、ヒュメット、名和田

VS 2025年12月11日(木) 第6節 HOME
ラーチャブリーFC(タイ)



11日の試合はボヤトス監督のラストゲーム。6連勝で締めくりたい

強力な外国籍アタッカーを擁するタイ屈指の強豪クラブ

ラーチャブリーFCはタイ中部のラーチャブリー県を本拠地とする2004年創設の地方クラブ。2010年に地元の名士であるニティカンチャナー家がオーナーとなったのを機に急成長を遂げると、2013年に1部昇格を果たしてトップリーグに定着。2016年にはタイFAカップを制してタイトルを獲得するなど、タイを代表する強豪クラブとなった。

初出場となった2021年のAFCチャンピオンズリーグでは2分4敗でグループステージ敗退に終わったが、今季のACL2では第3節の東方戦で初勝利をマーク。同試合でハットトリックを記録したブラジル人FWデニルソン・ジュニオールが強力な外国籍アタッカー陣を中心にチームは好調を維持しており、今季のタイリーグでは初の優勝を狙える位置につけている。



KEY PLAYERS

8カ国でプレー。 さすらいの ストライカー

今季タイリーグ開幕後に加入したブラジル人FW。加入直後からチームに欠かせない攻撃の柱となっており、ACL2でも東方との2試合で計5ゴールの大活躍を見せた。タイ以外にもアゼルバイジャン、サウジアラビア、UAE、ベトナムなど計8カ国でのプレー経験をもつ。

FW 7 — ブラジル出身 30歳

デニルソン
ジュニオール

Denilson Junior

デンマーク人の父をもつ タイ代表の大型DF

デンマーク人の父とタイ人の母をもつ23歳のタイ代表DF。190cmの高さがあり、フランス人DFガブリエル・ムトンボとともにチームの守備を支える。昨年、タイのメディアではJリーグクラブからオファーが届いていると報じられたこともある注目選手。

DF 4 — タイ出身 23歳

ジョナサン
ケムディー

Jonathan Khemdee